

# カトリック八尾教会ニュース

2025年6月

Tháng sáu



## 【今月の予定】

## ミサの時間

1日(日・祭) 主の昇天	7:00 10:00
8日(日・祭) 聖霊降臨の主日	7:00 10:00
15日(日・祭) 三位一体の主日	7:00 10:00
ベトナム語のミサ	15:00
21日(土) 子ども会(初聖体勉強会)	14:00
22日(日・祭) キリストの聖体	7:00 10:00
24日(火・祭) 洗礼者聖ヨハネの誕生	----
29日(日・祭) 聖ペトロ聖パウロ使徒	7:00
聖ペテロ使徒座への献金	10:00

臨時小 教区評議会

信仰講座 16:00

病者のための祈りの集い (10時ミサ後)

子どもとともにささげるミサ

27日(金・祭) イエスのみ心

パウロ 酒井俊弘補佐司教霊名



【平日のミサ】 木曜日 10:00

5日、12日、26日 (19日はお休み)

## ■新教皇の選出

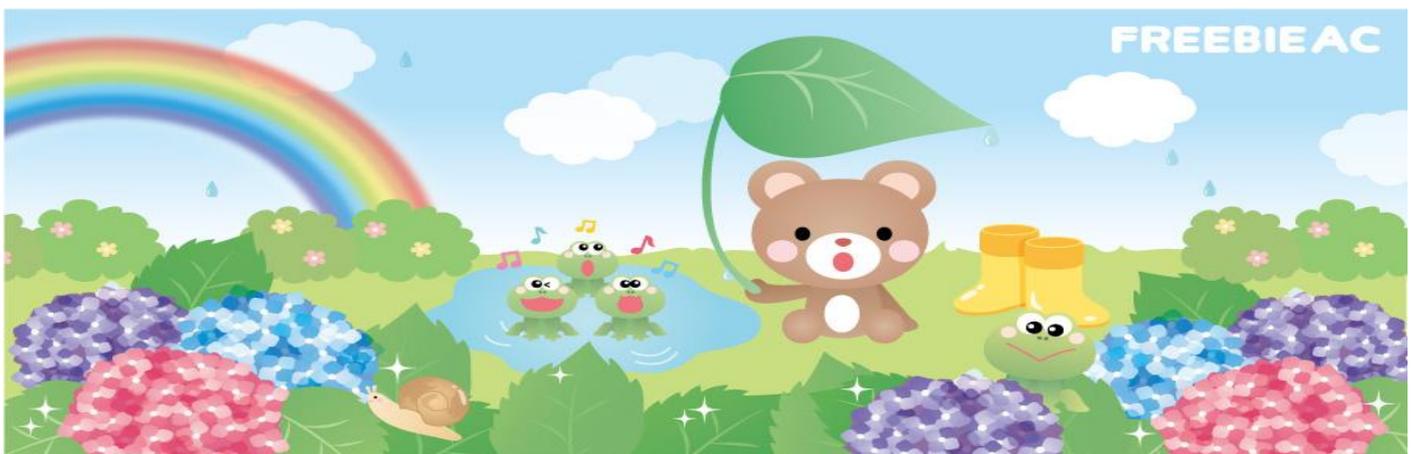
5月9日(木) (日本時間9日午前1時9分)、システィーナ礼拝堂の煙突から教皇選出を告げる白い煙が上がり、サンピエトロ大聖堂の鐘が鳴らされました。.....、ロバート・フランシス・プレボスト枢機卿 (初の北米大陸出身の教皇) が現れました。新教皇はレオ14世 (Leo XIV) を名乗りました。  
(大阪高松 教区H.P より一部抜粋)



Leo XIV

## ■信徒総会が行われました 5月11日(日)10時のミサ後

- ・新役員の紹介及び八尾教会年間行事予定配布
- ・(財務委員会より) 2024年度決算と2025年度予算について報告及び資料配布



ジャズ曲のドラムの重厚な低音が響いてくる。部屋の空気は勿論、自分の心にもしみじみと伝わってくる。共鳴というものだろう。

昨日、八尾での主日の司牧が終わり、自転車で帰途中、えらいことがあった。

大きい交差点に入り、そのまま直進する時、並んで直進するある車からクラクションを鳴らされたのだ。「あんた、邪魔や！」との気持ちがよく伝わって来た。そもそも人様にご迷惑を掛けるような走りはしないと気を付けながら走っている分、「何が不満やねん?!」とカットなった自分は、その車を追い越しては、車の前方をこれぞ本物の迷惑だぜと見せんばかりに車道のほぼ真ん中を数秒走ってやった。その後、速度を落として車の横に接近して、窓越しに、車の前列に乗っている人々を睨みつけた。運転者は若い男性で、彼女らしき女性が助手席にいて、彼ら二人と自分との睨みあいは何秒間続いた。その後、速度を出してその場を離れた。

仮に、あそこで自転車を止めていたら、お互い望ましくない結果になっていたかもしれない。クアルテットのジャズ曲なのに、耳は低音のドラム音ばかりを追っている。心はその響きに敏感に反応している。恐らく、自分の心の底に流れている厭らしさを喚起しているためだろう。一見きっちりとは振る舞っているような外観と違って、機会あることに顔を出そうとしている、自分の性情の激しさを、その抑え隠せない生の感情を表してしまった自分への自己嫌悪が何とも後味悪くて、頭痛や吐き気を感じる翌日だった。久しぶりに丸々の一日を休んだ。「やる気が出ない」一日を過ごし、ようやく、この宿題をやるために力を振り絞っている。

自分に課している道徳的規準が厳しい分、其処から落ちたと感じた時のダメージは大きい。今度の出来事の意味は極めて単純だ。仕返し!それ以上も以下の何ものでもない。主日のごミサで偉そうな説教をしておいて、帰り道で車の運転者に情けないことを仕出かしている司祭だなんて、恥ずかしすぎる。一日中の頭痛と吐き気には覚えがある。病気を患ってから回復中の時、剣道を習っていて、真剣を持っていたのだが、誤って、刀に砂布を掛けてしまい、取り戻せない傷を付けてしまった。「もう治せない。えらいことをやっちゃった」と思った時、今日のような体の反応があった。

考えてみる。

自分は、良い司牧者だろうか。良い事務局長だろうか。

何よりも、良い人間だろうか、と。

確かに言えることは、神様が全てを存じておられ、その丸ごと、何の条件もなく、愛して下さっていることだ。

其処に救いがある。このちっぽけでみじめな自分の中にはなく!

5月、聖母の月、

あの車中の男女のためにロザリオを握り、

お祈りを捧げなきや。

